

2018年8月16日 全9頁

## Indicators Update

# 2018年7月貿易統計

中国の関税引き下げでアジア向け輸出が底堅く推移するも、  
全体の輸出数量は前月比微減

経済調査部  
研究員 廣野 洋太  
エコノミスト 小林 俊介

### [要約]

- 2018年7月の貿易統計によると、輸出金額は前年比+3.9%と前月（同+6.7%）からプラス幅が縮小、一方、輸入金額は同+14.6%と前月（同+2.6%）からプラス幅が拡大した。貿易収支は▲2,312億円と2ヶ月ぶりの赤字となった。
- 輸出数量（大和総研による季節調整値）は前月比▲0.2%と3ヶ月連続で減少。地域別では、米国向け（同▲0.4%）、EU向け（同▲1.2%）で減少したが、アジア向け（同+1.7%）は増加した。米国では、牽引役となっていた自動車が5、6月で大きく減少し、7月も微減となった。米国内の自動車販売も軟調で、輸出についてもピークアウト感が見られる。EUは、2017年中ごろから増勢が頭打ちである。足下では原動機の減少が全体を押し下げているが、前月の大幅増の反動とみられる。アジアは、半導体等製造装置を中心とした伸びが2017年末ごろから鈍化しているが、7月は中国の自動車関税等の引き下げ効果で底堅く推移したものとみられる。
- 中国政府は7月1日から、自動車および自動車部品、1,449項目に及ぶ日用品などの関税率を引き下げた。対象品目の輸出数量を見たところ、全体の前年比プラス幅拡大（7月：前年比+7.9%、6月：同+4.8%）に寄与したのは、自動車、医薬品、音響・映像機器、半導体等製造装置などであった。

図表1：貿易統計の概況(原系列、前年比、%)

	2017年		2018年						
	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
輸出金額	16.2	9.4	12.3	1.8	2.1	7.8	8.1	6.7	3.9
コンセンサス									6.3
DIR予想									5.6
輸入金額	17.3	15.0	7.8	16.6	▲0.5	6.0	14.1	2.6	14.6
輸出数量	5.7	4.6	10.8	▲0.8	3.6	7.2	6.4	3.2	0.8
価格	9.9	4.5	1.3	2.7	▲1.4	0.5	1.5	3.4	3.0
輸入数量	4.0	7.0	3.3	13.8	▲4.2	2.1	6.6	▲4.5	4.1
価格	12.8	7.4	4.4	2.5	3.9	3.8	7.0	7.4	10.2
貿易収支	1,052	3,562	▲9,483	▲1	7,933	6,208	▲5,833	7,208	▲2,312
税関長公示レート	113.54	112.48	112.47	109.26	106.56	106.31	109.08	109.86	110.78

(注1) 貿易収支は億円。税関長公示レートは円/ドルレート。

(注2) コンセンサスはBloomberg。

(出所) 財務省、Bloombergより大和総研作成

### 輸出金額は数量要因によって前年比プラス幅が縮小

2018年7月の貿易統計によると、輸出金額は前年比+3.9%（市場コンセンサス：同+6.3%）と前月（同+6.7%）からプラス幅が縮小、一方、輸入金額は同+14.6%と前月（同+2.6%）からプラス幅が拡大した。貿易収支は▲2,312億円と2ヶ月ぶりの赤字となった。

輸出金額を数量要因と価格要因に分解すると、数量要因は前年比+0.8%と前月（同+3.2%）からプラス幅が縮小した。価格要因については同+3.0%とプラス幅が前月（同+3.4%）から縮小している。輸出価格については、鉄鋼や非鉄金属などの単価が全体の価格を押し上げてきたが、足下では半導体等製造装置や音響・映像機器の単価が全体を押し下げている。

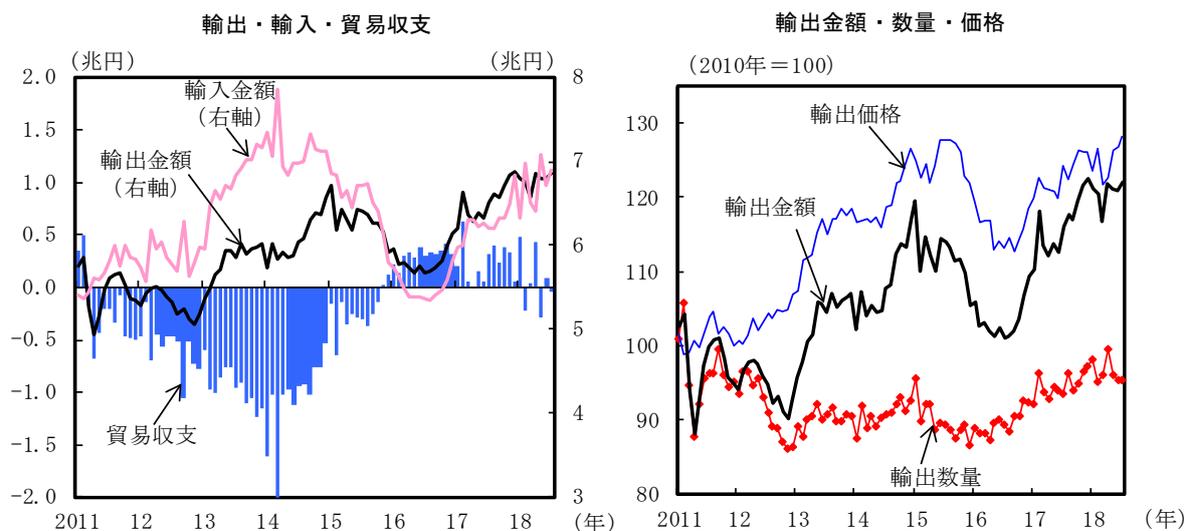
輸入金額を数量要因と価格要因に分解すると、数量要因は前年比+4.1%と前月（同▲4.5%）からプラス転換している。価格要因については同+10.2%と前月（同+7.4%）からプラス幅が拡大している。

輸入数量を商品別に見ると、原油及び粗油が前月から前年比マイナス幅を縮小しており、こちらの影響が大きかったようだ。また、価格要因については、鉱物性燃料が全般的に前年比プラス幅を拡大しており、こちらが影響したものとみられる。

季節調整値で見ると、輸出金額は前月比+1.0%、輸入金額は同+2.9%となった結果、貿易収支は456億円の赤字となり、前月の黒字から赤字転換した。

貿易収支については昨年末ごろから振れが大きくなっているが、これは主に輸入金額の変動によるものである。中でも原油及び粗油の数量の変動が大きく、原油価格や政治動向などによって輸入数量が影響を受けている可能性がある。

図表 2：輸出金額・数量・価格、貿易収支（季節調整値）



(注) 輸出数量、輸出価格の季節調整は大和総研。直近の値は2015年基準で延長。

(出所) 財務省統計より大和総研作成

### 輸出数量は3ヶ月連続で減少

輸出数量（大和総研による季節調整値）は前月比▲0.2%と3ヶ月連続で減少。地域別では、米国向け（同▲0.4%）、EU向け（同▲1.2%）で減少したが、アジア向け（同+1.7%）は増加した。

米国向けでは、牽引役となっていた自動車が5、6月で大きく減少し、7月も微減となった。米国内の自動車販売も軟調で、輸出についてもピークアウト感が見られる。なお米国向けでは、半導体等製造装置も減少傾向となっている。

EU向けは、2017年中ごろから増勢が頭打ちである。足下では原動機の減少が全体を押し下げているが、前月の大幅増の反動とみられる。また、プラスチックも5月から減少トレンドに転じており、ピークアウト感が見られる。

アジアは、半導体等製造装置を中心とした伸びが2017年末ごろから鈍化しているが、自動車や半導体等製造装置の増加が全体を押し上げた。7月は中国の自動車や日用品などの関税引き下げの効果で底堅く推移したものとみられる。

## 関税引き下げによって、自動車や半導体等製造装置などの対中輸出が増加

中国政府は5月22日、自動車および自動車部品の関税率を7月1日から引き下げることが発表された。具体的には、20%もしくは25%であった自動車の関税率は15%に、8~25%であった自動車部品の関税率は一律で6%に引き下げられている。さらに5月31日には、1,449項目に及ぶ日用品などの関税率についても7月1日から引き下げられることが発表された。

関税率の引き下げは、企業にとってはコスト削減につながるため、輸出増とそれに伴う生産の増加が期待される。また今回の関税引き下げは、5月中にアナウンスされていることから、企業は6月の生産や出荷、輸出を控え、7月分を増加させる可能性があった。

公表されている品目とその関税率の引き下げ幅から、対象となる項目の対中輸出額と平均的な関税率の引き下げ幅を**図表3**にまとめた。対象となる項目は総額で1.9兆円、平均的な関税率引き下げ幅は▲6.6%pt、金額にすると▲1,271億円と試算される。

実際に関税引き下げの対象となった品目の対中輸出は増加したのだろうか。対象品目の輸出数量<sup>1</sup>を見たところ、全体の前年比プラス幅拡大（7月：前年比+7.9%、6月：同+4.8%）に寄与したのは、自動車、医薬品、音響・映像機器、半導体等製造装置などであった。他方、プラスチックや非鉄金属はマイナス寄与となっており関税引き下げの効果は限定的であったようである。

<sup>1</sup> 今回は、財務省が公表している概況品ベースの数量を見ているため、中国の関税引き下げ対象品目と厳密には一致しない。

図表3：中国の関税率引き下げの概要と日本の対中輸出への影響

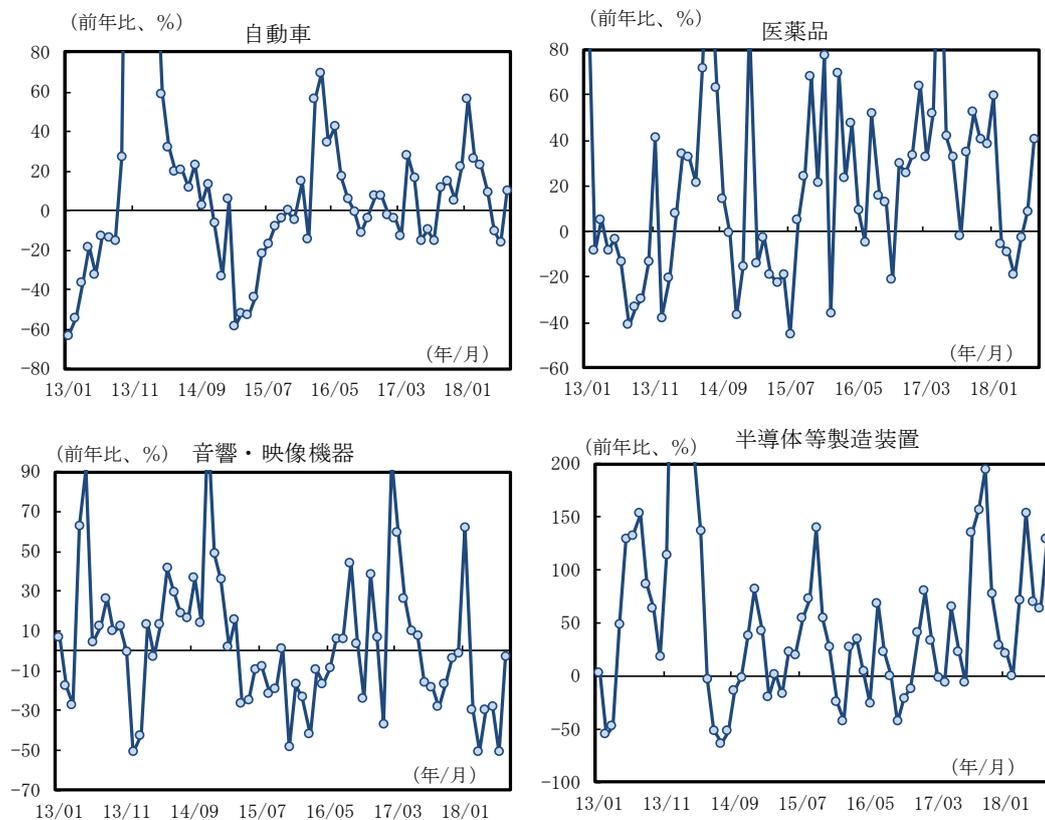
	対象品目総額 (億円)	現行平均税率 (%)	引き下げ後 平均税率 (%)	平均 引き下げ幅 (%pt)	関税 引き下げ額 (億円)
動物（生きているものに限る。）及び動物性生産品（主に水産物）	329	10.2	7.0	▲3.2	▲10.5
調製食品、飲料、アルコール、食酢、たばこ及び製造たばこ代用品	207	20.7	8.6	▲12.2	▲25.2
化学工業（類似の工業を含む。）の生産品	2,168	7.2	2.3	▲4.8	▲104.6
医療用品	563	4.4	0.0	▲4.4	▲25.0
化粧品	1,129	7.4	1.8	▲5.6	▲63.5
洗剤	432	10.1	6.5	▲3.6	▲15.3
プラスチック及びゴム並びにこれらの製品	66	10.3	6.6	▲3.7	▲2.4
革製品及び動物用装着具並びに旅行用具、ハンドバッグなど	10	12.5	6.9	▲5.5	▲0.6
紙及び板紙並びに製紙用パルプ、紙又は板紙の製品	103	7.5	5.0	▲2.5	▲2.6
紡織用繊維及びその製品	138	14.8	6.2	▲8.6	▲11.9
履物、帽子、傘、つえ、シートステッキ及びむち並びにこれらの部分品	27	17.2	7.4	▲9.8	▲2.7
陶磁製品並びにガラス及びその製品	45	12.6	7.0	▲5.6	▲2.5
天然又は養殖の真珠、貴金属など	27	29.9	9.4	▲20.5	▲5.5
卑金属及びその製品	57	14.5	7.0	▲7.5	▲4.2
機械類及び電気機器並びにこれらの部分品	412	18.4	7.4	▲11.0	▲45.2
車両、航空機、船舶及び輸送機器関連品（下記で掲載するものは除く）	1	18.2	5.9	▲12.3	▲0.1
精密機器、時計及び楽器並びにこれらの部分品及び附属品	208	17.0	9.6	▲7.5	▲15.5
雑品	1,786	12.0	5.1	▲6.8	▲122.2
美術品、収集品及び小つとう	1	12.5	3.5	▲9.0	▲0.1
<b>日用品など計</b>	<b>5,584</b>	<b>11.1</b>	<b>4.7</b>	<b>▲6.4</b>	<b>▲355.7</b>
自動車	5,556	25.0	15.0	▲10.0	▲555.6
自動車部品	8,113	10.4	6.0	▲4.4	▲359.9
<b>自動車関連計</b>	<b>13,669</b>	<b>16.4</b>	<b>9.7</b>	<b>▲6.7</b>	<b>▲915.5</b>
<b>総計</b>	<b>19,253</b>	<b>14.8</b>	<b>8.2</b>	<b>▲6.6</b>	<b>▲1,271.1</b>

（注1）輸出統計品目表の「部」単位で集計。第9部はほぼゼロのため省略。表記についても適宜省略しているため本表とは一致しない。

（注2）HSコード6桁ベースで計算。関税率は、2017年の輸出額で加重平均して計算。

（出所）JETRO、中国財政部資料、財務省統計より大和総研作成

図表4：対中輸出数量の推移



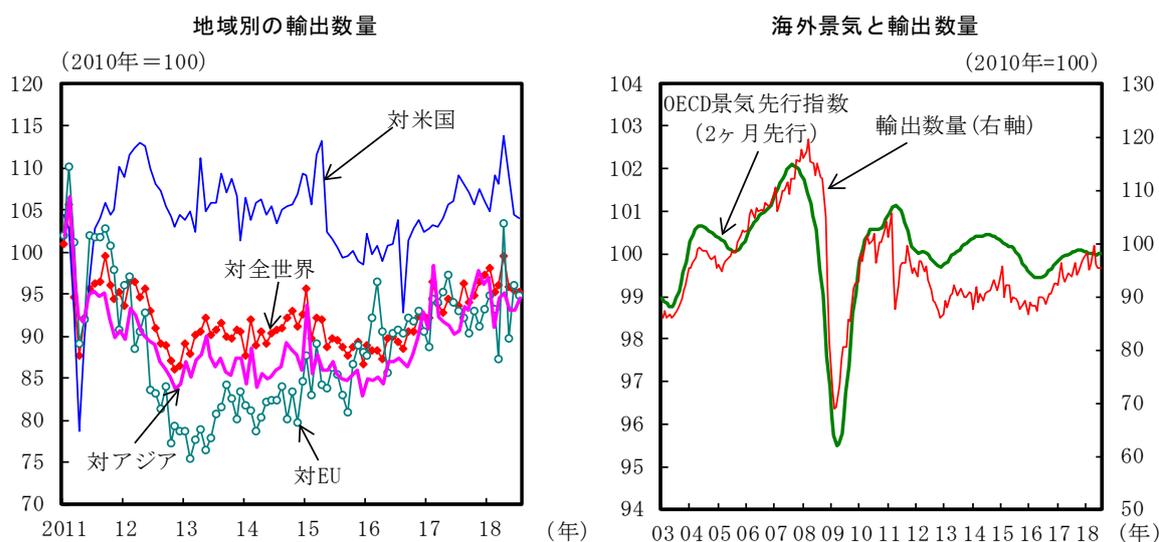
（出所）財務省統計より大和総研作成

## 輸出数量は増加基調を維持するものの、増勢は鈍化する見通し

先行きの輸出数量について、増加基調は維持するがその増勢は鈍化するとみている。2017年度の輸出は、米国を中心とした在庫循環上の回復や共産党大会を控えた中国経済の加速に支えられてきたが、これらのプラス要因はすでに剥落している。ただし、米国の減税効果という新たなプラス要因が顕在化するため、海外経済が大きく腰折れする可能性は低く輸出数量の増加基調は維持されるとみている。

また中国は、日用品などの関税率を引き下げた。公表されている情報をもとに日本企業が支払う関税額の減少分を試算すると、1,271億円程度となる。一方、米国では自動車関連輸入の調査が始まっており、日米二国間での貿易協定（FFR）も始まっている。20%の追加関税が自動車とその部品にかけられた場合、メキシコやカナダなど第三国からの自動車輸出も含めると関税の増加額は全体で1.8兆円程度と試算され、中国の輸入関税引き下げのプラス効果を大きく上回るマイナス効果となる。

図表5：地域別の輸出数量、海外景気と輸出数量（季節調整値）



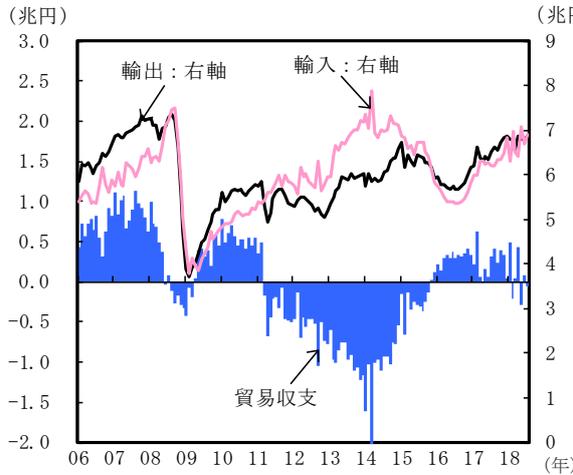
(注1) OECD景気先行指数(CLI)はOECD諸国とBRICsなど非加盟6ヶ国を集計したベース。

(注2) 輸出数量の季節調整は大和総研。直近の値は2015年基準で延長。

(出所) 財務省、OECD統計より大和総研作成

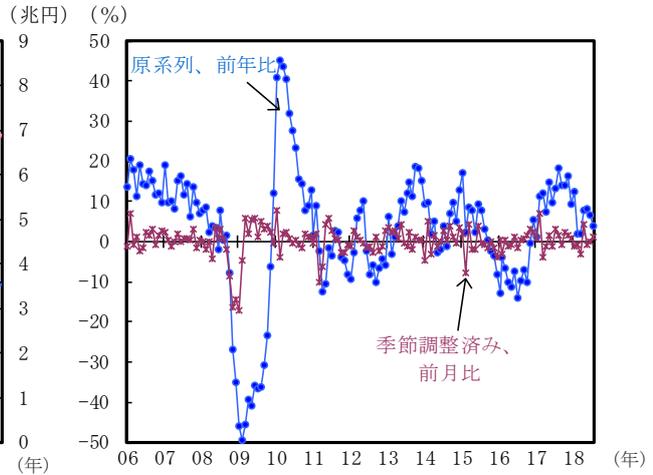
概況

輸出入と貿易収支 (名目、季節調整値)

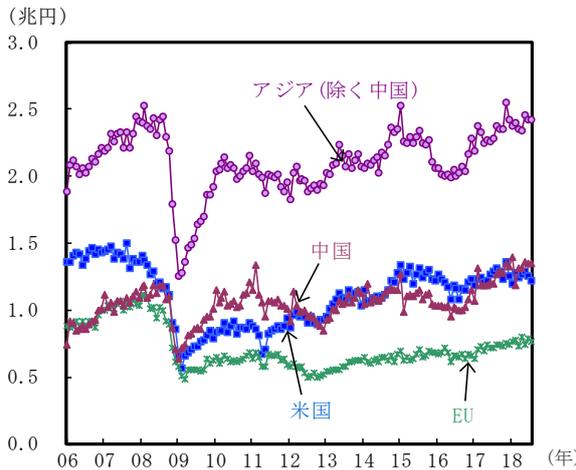


(出所) 財務省統計より大和総研作成

輸出額の変化率 (名目)

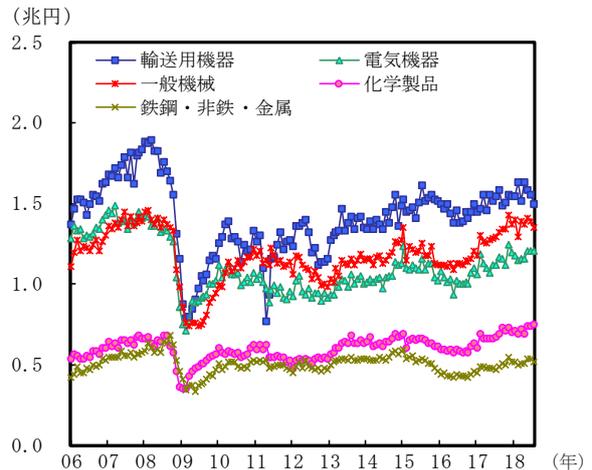


主要地域・国別の輸出額 (名目、季節調整値)

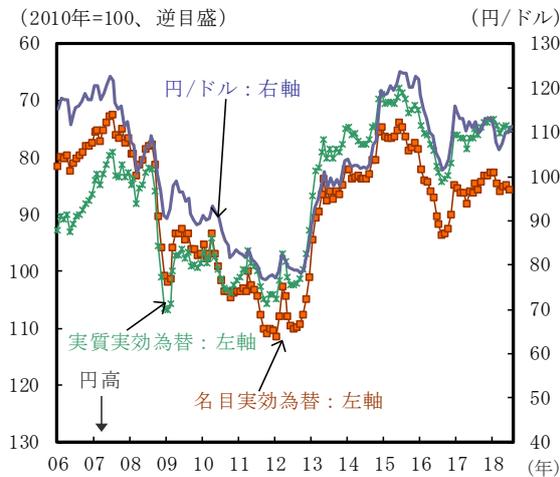


(注) 季節調整は大和総研。  
(出所) 財務省統計より大和総研作成

主要商品別の輸出額 (名目、季節調整値)

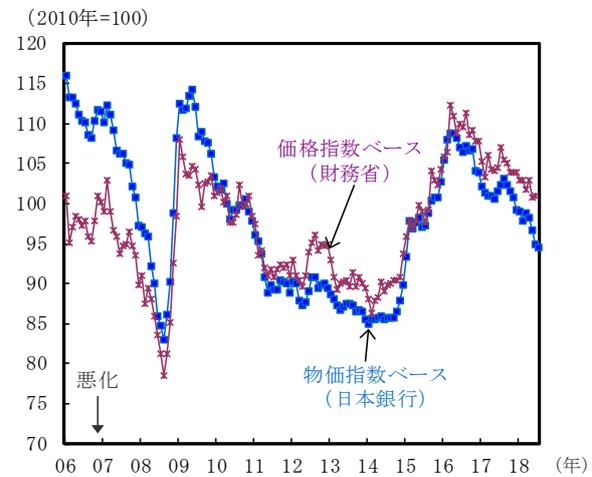


為替相場



(注) 交易条件は、輸出価格指数/輸入価格指数 (輸出物価指数/輸入物価指数)。  
(出所) 財務省、日本銀行統計より大和総研作成

交易条件



輸出金額 内訳								
	2018/02	2018/03	2018/04	2018/05	2018/06	2018/07		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	1.8	2.1	7.8	8.1	6.7	3.9	100.0	3.9
食料品	▲6.2	8.4	25.8	25.7	21.7	21.7	0.9	0.2
原料品	▲3.0	▲5.8	4.2	13.5	10.4	6.7	1.4	0.1
鉱物性燃料	12.0	▲3.4	57.4	33.7	17.3	43.1	1.8	0.6
化学製品	▲0.1	8.2	5.0	12.5	11.6	10.9	11.0	1.1
原料別製品	0.5	4.6	4.1	10.7	9.5	7.1	11.3	0.8
鉄鋼	0.6	▲0.3	1.2	7.8	7.2	11.2	4.2	0.4
非鉄金属	5.1	11.6	10.4	23.7	19.4	9.6	1.9	0.2
金属製品	1.1	9.3	8.8	7.7	13.4	5.7	1.7	0.1
一般機械	▲0.6	10.2	8.6	9.9	8.4	4.8	20.3	1.0
電気機器	▲3.1	3.2	4.8	11.3	8.1	7.0	18.0	1.2
半導体等電子部品	▲4.4	4.3	4.3	8.4	9.0	8.0	5.4	0.4
I C	▲5.2	5.1	7.9	7.7	9.3	9.7	3.8	0.3
映像記録・再生機器	▲17.7	▲16.2	▲13.1	▲1.5	5.0	▲8.9	0.4	▲0.0
音響・映像機器の部分品	▲29.9	▲18.1	▲24.2	6.7	▲14.4	17.1	0.4	0.1
電気回路等の機器	▲4.0	0.2	▲1.1	4.3	1.6	1.7	2.7	0.0
輸送用機器	11.4	▲1.7	11.8	1.7	2.7	▲4.0	22.2	▲1.0
自動車	15.7	5.4	15.3	7.1	▲1.0	▲2.8	14.7	▲0.4
自動車の部分品	▲1.0	0.4	0.3	10.4	8.4	0.8	5.0	0.0
その他	▲1.9	▲9.3	4.5	2.2	2.0	▲0.4	13.1	▲0.1
科学光学機器	▲7.7	▲2.3	▲6.5	▲3.8	▲3.0	▲2.6	2.8	▲0.1

米国向け輸出金額 内訳								
	2018/02	2018/03	2018/04	2018/05	2018/06	2018/07		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	4.3	0.2	4.3	5.8	▲0.9	▲5.2	100.0	▲5.2
食料品	▲1.3	10.4	1.8	3.5	10.8	6.6	0.6	0.0
原料品	27.2	128.4	▲31.7	4.2	25.3	▲7.4	0.4	▲0.0
鉱物性燃料	137.0	16.8	124.7	53.1	131.0	61.3	0.9	0.3
化学製品	2.4	14.7	4.8	13.0	9.9	18.1	7.2	1.0
原料別製品	▲2.1	▲5.9	▲0.4	11.1	1.8	0.8	6.7	0.0
鉄鋼	▲16.4	▲13.7	13.7	18.6	▲17.1	▲12.0	1.3	▲0.2
非鉄金属	25.6	7.8	▲4.3	28.9	31.7	20.0	0.8	0.1
金属製品	▲3.7	▲9.5	▲9.5	▲2.5	1.5	10.3	1.8	0.2
一般機械	1.2	0.5	2.4	3.1	0.1	▲8.3	21.6	▲1.8
電気機器	▲2.7	▲4.3	0.8	10.9	6.4	3.8	14.5	0.5
半導体等電子部品	▲6.7	▲9.9	▲3.3	5.2	7.8	1.4	1.7	0.0
I C	▲9.7	▲15.6	▲11.0	3.2	▲7.2	▲4.8	0.8	▲0.0
映像記録・再生機器	▲12.4	▲26.8	1.1	▲2.0	25.3	▲4.0	0.6	▲0.0
音響・映像機器の部分品	▲11.9	▲61.2	▲18.2	▲20.0	▲9.1	49.9	0.9	0.3
電気回路等の機器	▲7.9	▲9.9	▲10.5	3.1	5.8	0.7	1.4	0.0
輸送用機器	6.9	0.3	5.3	▲0.9	▲9.9	▲11.8	38.6	▲4.9
自動車	12.3	3.2	10.0	▲3.9	▲12.0	▲12.1	29.7	▲3.9
自動車の部分品	▲7.9	▲2.6	▲2.7	12.6	▲0.1	▲15.2	5.7	▲1.0
その他	12.0	▲4.1	11.9	19.7	9.3	▲3.6	9.5	▲0.3
科学光学機器	7.5	2.4	4.5	3.5	▲3.2	▲7.0	2.1	▲0.1

EU向け輸出金額 内訳								
	2018/02	2018/03	2018/04	2018/05	2018/06	2018/07		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	11.5	0.3	14.1	0.7	9.3	6.4	100.0	6.4
食料品	▲9.9	▲1.5	30.9	▲30.0	10.7	18.1	0.4	0.1
原料品	9.4	14.9	21.6	6.4	19.3	22.1	1.0	0.2
鉱物性燃料	293.4	▲60.5	146.8	57.4	15.7	126.2	1.1	0.6
化学製品	15.8	17.7	20.5	10.4	14.5	15.1	10.0	1.4
原料別製品	23.4	12.9	14.5	17.8	12.8	17.4	7.0	1.1
鉄鋼	21.3	13.6	11.6	20.0	▲0.3	22.8	0.9	0.2
非鉄金属	82.3	24.9	26.5	22.0	22.5	40.4	1.1	0.3
金属製品	19.4	10.1	14.6	8.2	7.6	11.0	1.5	0.2
一般機械	2.6	10.2	3.3	10.5	13.1	7.8	24.1	1.9
電気機器	14.0	11.8	10.0	13.4	8.8	7.2	16.9	1.2
半導体等電子部品	4.1	0.1	1.6	4.7	3.6	▲0.8	2.1	▲0.0
I C	1.6	▲7.7	▲6.0	▲9.8	▲7.7	▲10.2	1.0	▲0.1
映像記録・再生機器	▲9.1	▲8.6	▲14.6	2.4	8.3	▲13.2	0.6	▲0.1
音響・映像機器の部分品	17.5	7.3	22.8	2.3	19.3	8.4	0.2	0.0
電気回路等の機器	21.1	15.0	7.4	11.1	9.8	3.3	1.8	0.1
輸送用機器	31.5	▲8.4	23.0	▲15.8	6.2	▲7.3	22.3	▲1.9
自動車	39.3	▲8.7	24.1	15.8	▲17.4	▲7.6	13.7	▲1.2
自動車の部分品	9.8	10.7	3.5	22.6	5.7	▲2.1	5.7	▲0.1
その他	▲13.9	▲23.2	13.9	▲7.4	4.7	10.7	17.2	1.8
科学光学機器	9.4	12.7	4.8	3.8	3.6	▲1.5	2.9	▲0.0

(出所) 財務省統計より大和総研作成

アジア向け輸出金額 内訳								
	2018/02	2018/03	2018/04	2018/05	2018/06	2018/07		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	▲3.2	4.5	6.0	9.8	8.6	8.0	100.0	8.0
食料品	▲8.7	9.1	31.5	38.8	25.5	26.6	1.1	0.3
原料品	▲5.3	▲16.0	5.7	14.8	7.9	6.9	2.1	0.1
鉱物性燃料	▲0.6	▲2.0	44.4	61.5	▲15.5	29.9	1.6	0.4
化学製品	▲3.0	6.1	4.4	12.0	11.4	9.3	14.3	1.3
原料別製品	▲1.8	8.1	6.6	11.2	13.3	8.3	14.2	1.2
鉄鋼	▲1.3	4.3	3.8	7.0	12.8	13.6	5.9	0.8
非鉄金属	0.5	12.8	11.3	23.9	19.5	7.7	2.9	0.2
金属製品	0.8	16.2	14.4	11.2	18.6	4.1	1.8	0.1
一般機械	▲4.1	13.9	12.8	11.8	9.4	9.2	20.2	1.8
電気機器	▲6.8	3.7	4.3	11.0	8.2	8.4	22.3	1.9
半導体等電子部品	▲4.8	5.9	5.2	8.7	9.3	9.0	8.6	0.8
I C	▲5.2	7.2	9.7	8.9	11.0	11.3	6.3	0.7
映像記録・再生機器	▲26.4	▲16.2	▲17.2	▲3.9	▲5.1	▲7.8	0.4	▲0.0
音響・映像機器の部分品	▲40.1	▲6.8	▲31.7	7.7	▲22.5	0.2	0.4	0.0
電気回路等の機器	▲6.7	0.4	▲0.5	3.2	0.4	2.0	3.7	0.1
輸送用機器	5.6	▲2.6	0.6	5.0	5.7	6.4	9.4	0.6
自動車	14.3	9.2	9.5	15.2	3.3	7.1	4.5	0.3
自動車の部分品	▲2.2	1.3	1.5	6.2	19.4	11.0	4.0	0.4
その他	▲3.0	▲4.0	▲0.5	▲1.0	4.3	2.6	14.8	0.4
科学光学機器	▲13.5	▲4.3	▲11.6	▲7.6	▲4.3	▲1.4	3.6	▲0.1

中国向け輸出金額 内訳								
	2018/02	2018/03	2018/04	2018/05	2018/06	2018/07		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	▲9.7	10.8	10.9	13.9	11.1	11.9	100.0	11.9
食料品	▲30.7	1.7	79.7	86.6	69.8	64.7	0.6	0.2
原料品	▲24.9	▲34.2	▲7.3	14.3	▲2.4	▲2.6	2.5	▲0.1
鉱物性燃料	5.1	20.8	▲22.1	70.8	▲17.0	74.2	1.1	0.5
化学製品	▲8.6	11.6	8.9	13.8	14.2	12.8	15.0	1.9
原料別製品	▲9.7	9.3	9.1	4.9	9.9	▲0.5	10.9	▲0.1
鉄鋼	▲7.9	▲6.5	▲2.9	▲8.9	1.9	3.7	3.3	0.1
非鉄金属	▲0.9	35.2	41.4	10.8	26.0	▲11.5	2.3	▲0.3
金属製品	▲8.4	14.4	12.7	11.1	19.2	4.3	1.7	0.1
一般機械	▲9.5	32.0	36.6	30.5	22.9	27.8	25.0	6.1
電気機器	▲11.0	6.6	5.3	12.8	10.4	5.8	21.8	1.3
半導体等電子部品	▲3.3	12.0	11.0	10.6	27.4	13.6	7.3	1.0
I C	1.4	17.3	17.6	9.3	35.5	16.6	5.3	0.8
映像記録・再生機器	▲15.3	▲5.9	▲10.8	7.5	▲3.6	▲7.8	0.6	▲0.1
音響・映像機器の部分品	▲53.1	▲9.3	▲47.4	23.0	▲23.1	13.3	0.6	0.1
電気回路等の機器	▲12.9	▲3.1	0.2	6.2	0.5	▲1.0	4.0	▲0.0
輸送用機器	4.8	7.1	1.4	6.9	8.8	17.0	10.1	1.6
自動車	26.5	16.4	9.7	0.3	▲2.5	30.3	4.4	1.2
自動車の部分品	▲6.7	0.6	▲3.8	11.5	14.3	8.6	5.5	0.5
その他	▲15.1	▲3.1	▲5.1	▲2.3	▲6.0	2.2	13.1	0.3
科学光学機器	▲18.8	▲3.8	▲14.8	▲4.0	▲10.0	▲3.6	5.1	▲0.2

(出所) 財務省統計より大和総研作成